

## R3-18

## 実践的な防災教育の充実

- 管内 釧路管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（理科・地歴公民科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 各教科等の学習を通じた防災意識の向上
- 2 消防署と連携した避難訓練の実施

## ■ 取組の実際

## ねらい

- 各教科等の学習を通して、地震と津波への対応について理解を深める。
- 災害発生時に自らの生命を守るための基礎知識について理解を深め、防災意識を高める。
- 地震や洪水等、災害時において適切に避難行動する力を身に付ける。

## 内容

## 1 各教科等の学習を通して、地震と津波への対応について理解を深める

- ・ 理科「地震の仕組みと防災」

2つの地震波（P波・S波）から、震源や震央を求めることができることの説明を受け、実際に震央を求めるなど、緊急地震速報の仕組みについて理解を深めることができた。

- ・ 地歴公民「津波から身を守るルートの作成」

釧路市の津波の歴史や活断層について学習し、災害がより身近であることを理解した上で、釧路市の防災マップから学校や職場及び自宅からの避難ルートを考察した。

生徒は、「授業で用いたハザードマップを見て、自分の家や学校の状況を確認できてよかった。」などの感想をもち、地震や津波への対応について、理解を深めることができた。



【理科の授業】



【地歴公民科の授業】

## 2 避難訓練の実施

- ・ 消防署と連携した通報訓練を実施したことにより、災害時の対応について理解を深めることができた。
- ・ 地震による津波・火災を想定した避難訓練を実施し、定時制（夜間）においては、停電が発生した際、暗闇の中での避難となるなど、夜間の避難は、日中よりも危険が伴うことを実感し、生徒及び教職員が防災への意識を高めることができた。
- ・ 生徒は、「先に授業で防災について学習し、その後避難訓練を行ったため、いつもより気を引き締めて臨むことができた。」などの感想をもち、防災意識を高めることができた。



【避難訓練】

## 成果と課題

- 避難訓練や授業を通じて、生徒が地震や津波への対応について理解を深めるとともに、防災に対する意識を学校全体で高めるなど、生徒に危機管理能力の育成を図ることができた。
- 保護者や地域住民、関係機関と連携を図った避難訓練の実施や、地域の人材や教育資源を活用した防災教育を推進する必要がある。